河合塾エンリッチ講座 2016

今、憲法を考える

2016年7月の参議院選挙において与党が大勝、全議席の3分の2をいわゆる「改憲勢力」が占め、マスメディアは一斉に「これで憲法改正の環境が整った」と報じた。

「憲法改正」といえば、たとえば「緊急事態に対処するには、憲法を改正して緊急事態条項を追加する必要がある」といった主張がある一方、「緊急事態条項は憲法を破壊する」という反対意見もある。

だが、そもそも「憲法」とは何なのだろうか。そして何のために存在するのだろうか。

そうした前提的な事柄を踏まえると共に、現在のホットな憲法をめぐる争点について考えてみよう。

石川 裕一郎（いしかわ ゆういちろう）

1967年生まれ。早稲田大学法学部卒、同大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。専門は憲法・フランス法。2015年より現職。

主共著に
『リアル憲法学』（法律文化社）
『フランスの憲法判例』（信山社）
『憲法未来予想図』（現代人文社）など。

◆講演：**石川　裕一郎**
（聖学院大学政治経済学部　教授）

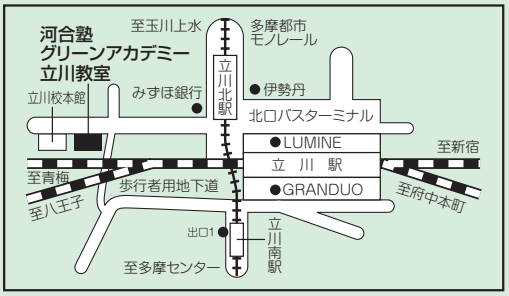
◆司会：**池田　五律**
（小論文科講師）

10月18日㈫　17:30～19:00

立川校　グリーンアカデミー 62教室

入場無料
申込不要

〒190-0012　立川市曙町 1-14-13
0120-198-640
●ＪＲ中央線・南武線・青梅線／立川駅北口より徒歩３分
●多摩都市モノレール／立川北駅より徒歩２分、
立川南駅出口１より徒歩３分



※どなたでも自由に参加できます。